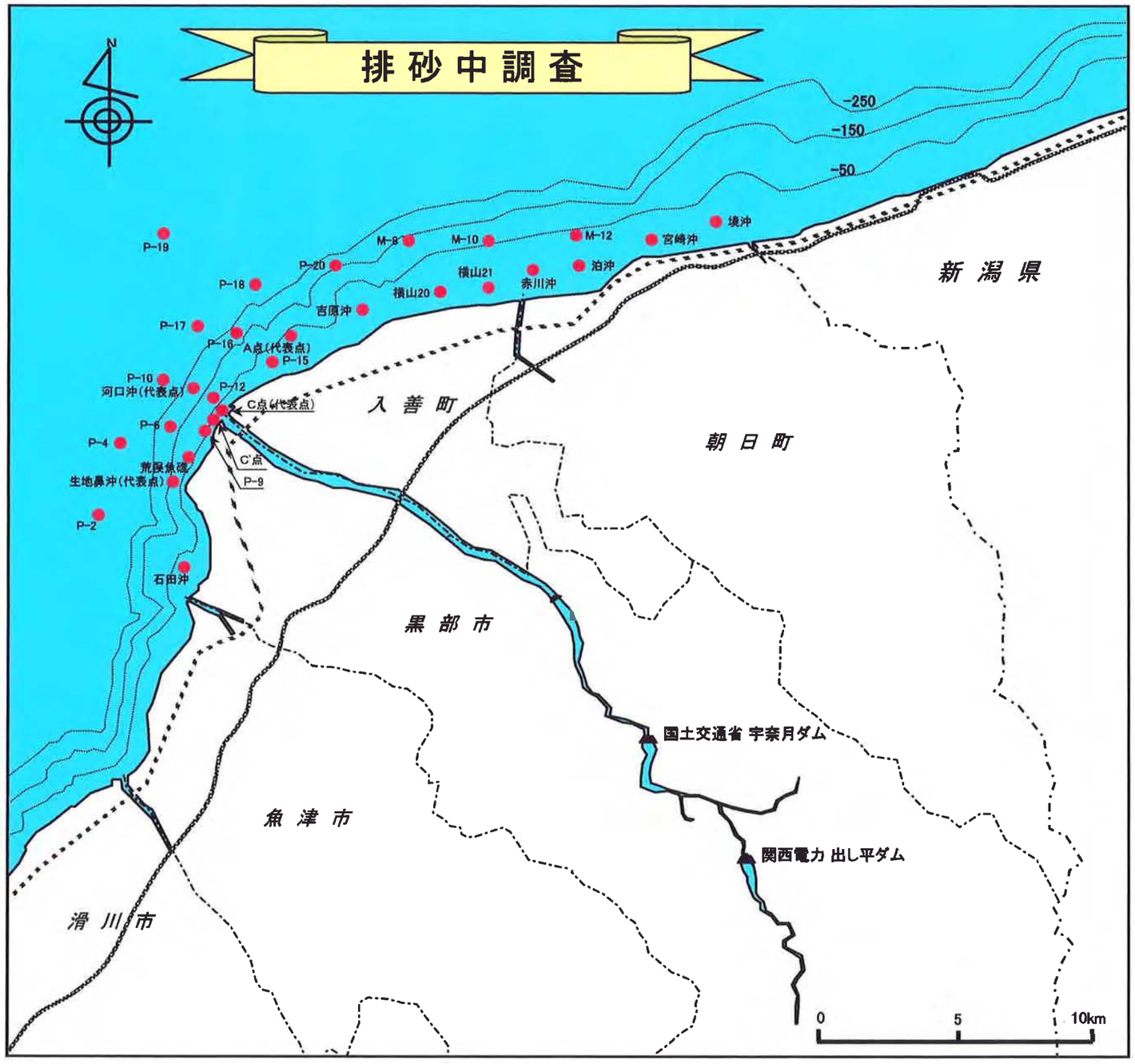
海域水質調査位置図



凡　例

●：水質調査
（海　域　：２９地点）

海域水質の観測値比較表

（1）ＳＳ
・Ｃ点での観測最大値は既往排砂時に比較し低く、240(mg/l)であった。

（2）ＣＯＤ
・Ｃ点での観測最大値は既往排砂時に比較し低く、3.8(mg/l）であった。

（3）ＤＯ
・観測した時点の飽和率は、いずれも100%以上であった。

調査時期		出し平ダム排砂量	ＳＳ（mg/l）				ＣＯＤ（mg/l）				ＤＯ（mg/l）			
			Ｃ点	Ａ点	河口沖	生地鼻沖	Ｃ点	Ａ点	河口沖	生地鼻沖	Ｃ点	Ａ点	河口沖	生地鼻沖
H7.7大出水	**(H7.7.12～17)**	**－**	**6,900**	**6**	**710**	**5**	**98**	**2.2**	**7.6**	**1.9**	**9.5 (104%)**	**8.7 (105%)**	**9.0 (104%)**	**8.6 (108%)**
H7.10緊急排砂	(H7.10.27～31)	172万m^3	1,000	31	100	29	6.9	2.5	2.9	2.7	7.0 (97%)	7.2 (101%)	7.3 (102%)	7.5 (99%)
H8.6緊急排砂	(H8.6.27～7.1)	80万m^3	1,200	52	230	9	8.7	4.3	3.1	3.5	8.7 (107%)	8.2 (110%)	9.2 (105%)	8.6 (114%)
H9.7緊急排砂	(H9.7.9～13)	46万m^3	＊ 3,500	＊ 24	＊ 330	＊ 25	＊ 51	＊ 2.1	＊ 6.2	＊ 2.6	＊ 8.0 (100%)	＊ 7.1 (101%)	＊ 7.4 (98%)	＊ 7.2 (98%)
H10.6排砂	(H10.6.28～30)	34万m^3	960	27	77	7	11	2.7	4.1	2.9	7.9 (99%)	7.6 (103%)	7.6 (102%)	7.6 (104%)
H10.7出水	**(H10.7.10)**	**－**	**1,100**	**26**	**450**	**14**	**12**	**3.1**	**6.4**	**3.5**	**8.4 (108%)**	**9.2 (123%)**	**9.1 (113%)**	**9.0 (121%)**
H11.9排砂	(H11.9.15～17)	70万m^3	3,220	4	72	5	11	3.3	2.3	3.8	6.7 (93%)	6.6 (99%)	6.9 (102%)	7.3 (101%)
H13.6連携排砂	(H13.6.19～21)	59万m^3	710	40	100	10	8.5	2.6	4.0	3.3	8.6 (102%)	7.7 (102%)	8.4 (106%)	8.1 (109%)
H13.6連携通砂	(H13.6.30～7.2)	－	750	52	6	6	7.0	2.6	2.4	3.2	8.3 (105%)	7.0 (98%)	7.7 (105%)	7.6 (102%)
H14.7連携排砂	(H14.7.13～15)	6万m^3	290	68	23	5	4.9	3.6	3.9	3.8	8.2 (105%)	7.8 (111%)	7.8 (105%)	7.6 (106%)
H15.6連携排砂	(H15.6.28～30)	9万m^3	＊ 3,900	＊ 28	＊ 61	＊ 5	＊ 96	＊ 3.4	＊ 3.1	＊ 2.6	＊ 8.2 (99%)	＊ 7.7 (105%)	＊ 8.4 (111%)	＊ 8.2 (114%)
H16.7連携排砂	(H16.7.16～18)	28万m^3	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
H16.7出水	**(H16.7.18)**	**－**	**1,700**	**7**	**4**	**10**	**31**	**2.2**	**1.2**	**2.2**	**8.4 (117%)**	**7.6 (115%)**	**7.7 (105%)**	**7.8 (114%)**
H16.7連携通砂	(H16.7.18～19)	－	3,500	9	5	8	59	2.7	2.3	2.1	7.4 (90%)	7.5 (112%)	7.9 (115%)	7.8 (115%)
H17.6連携排砂	(H17.6.27～30)	51万m^3	2,300	31	8	18	24	3.1	2.5	3.2	8.9 (98%)	7.1 (102%)	8.0 (116%)	8.2 (114%)
H17.6連携通砂	(H17.6.30～7.5)	－	140	8	150	9	2.7	2.0	3.7	4.5	7.5 (101%)	7.5 (105%)	8.5 (104%)	11.6 (158%)
H17.7連携通砂	(H17.7.12～14)	－	780	38	190	30	9.5	3.2	3.1	2.3	8.3 (103%)	8.2 (102%)	8.4 (107%)	7.4 (104%)
H18.7連携排砂	(H18.7.1～3)	24万m^3	2,800	×	×	4	37	×	×	2.6	8.9 (90%)	×	×	8.5 (117%)
H18.7 連携試験通砂	(H18.7.13～15)	16万m^3	＊ 1,100	＊ 26	＊ 85	＊ 12	＊ 12	＊ 3.0	＊ 6.0	＊ 3.9	＊ 9.4 (101%)	＊ 9.0 (124%)	＊ 10.0 (113%)	＊ 9.4 (124%)
H18.7 第１回連携通砂	(H18.7.17～19)		＊ 4,400	＊ 33	＊ 170	＊ 13	＊ 110	＊ 3.0	＊ 3.9	＊ 3.4	＊ 9.5 (96%)	＊ 8.1 (106%)	＊ 9.0 (104%)	＊ 8.1 (107%)
H18.7 第２回連携通砂	(H18.7.23～25)		780	55	170	18	8.0	3.9	4.1	4.9	9.8 (106%)	10.0 (120%)	9.0 (104%)	10.3 (142%)
H19.6連携排砂	**(H19.6.29～7.2)**	**12万m^3**	**240**	**×**	**41**	**18**	**3.8**	**×**	**2.4**	**3.1**	**8.9 (106%)**	**×**	**7.9 (107%)**	**7.4 (103%)**

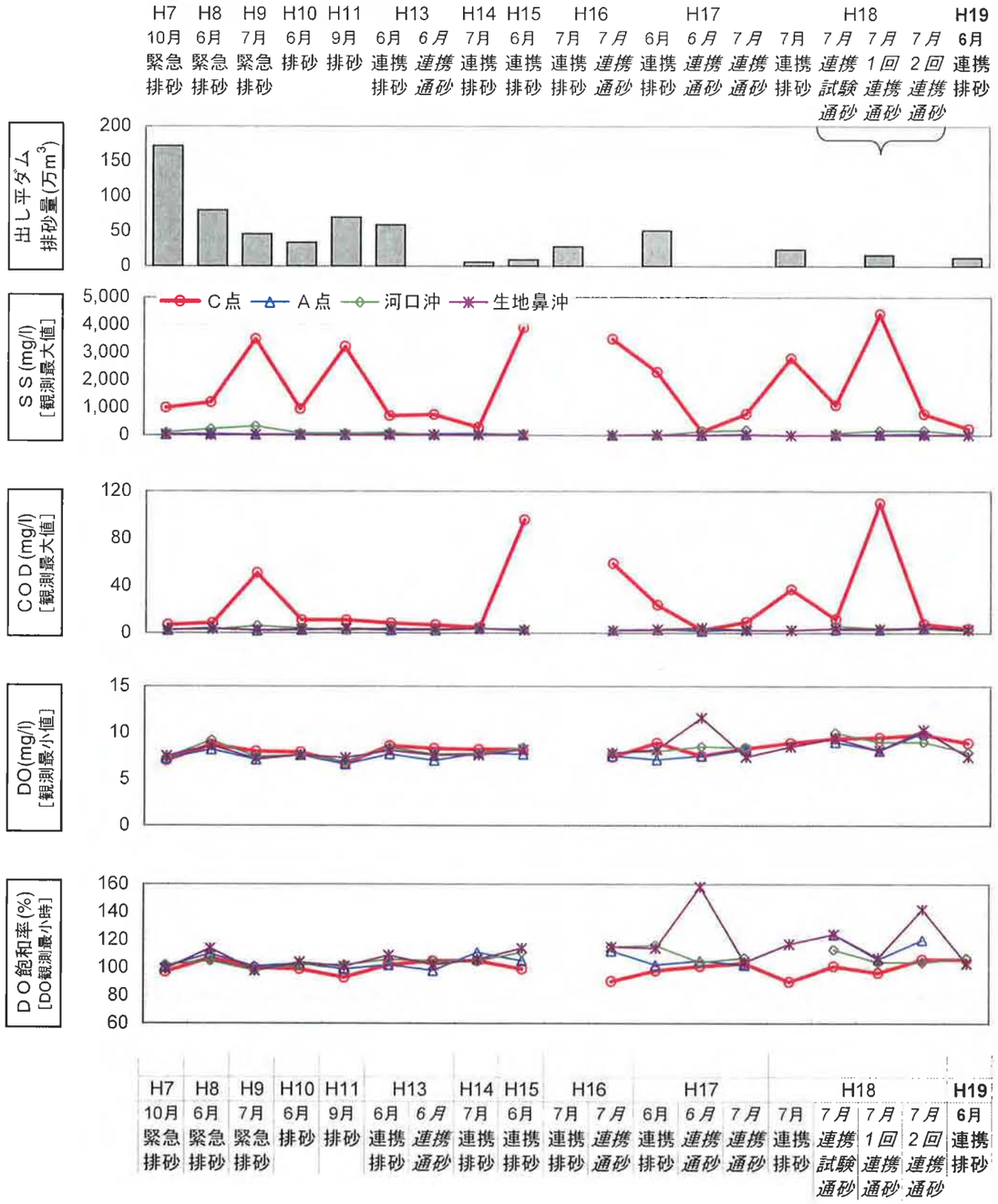
注）① 各地点で複数回採水したうちで、最大（DOのみ最小）の観測値を示す。なお、H7.7大出水時の測定値は、期間中に１回測定したときの観測値を示す。
② 数値の前に「＊」を付した観測値は、下黒部橋での観測値がピーク値となった時期に採水、観測した値を示す。
③ 「×」欄は強風により採水できなかったため欠測であったことを示す。
④ DOの( )内の数値はDO飽和率を示す。
⑤ H19年については、下表の期間の観測値を対象としている。

	海域（代表４地点）	備　考
H19.6連携排砂	6/30 14:55 ～7/01 10:50	宇奈月ダム：　排砂ゲート開操作開始（6/30 19:17）　～　排砂ゲート全閉（7/01 05:32） ※　自然流下が夜間であったため、自然流下中の海域での採水はできていない。

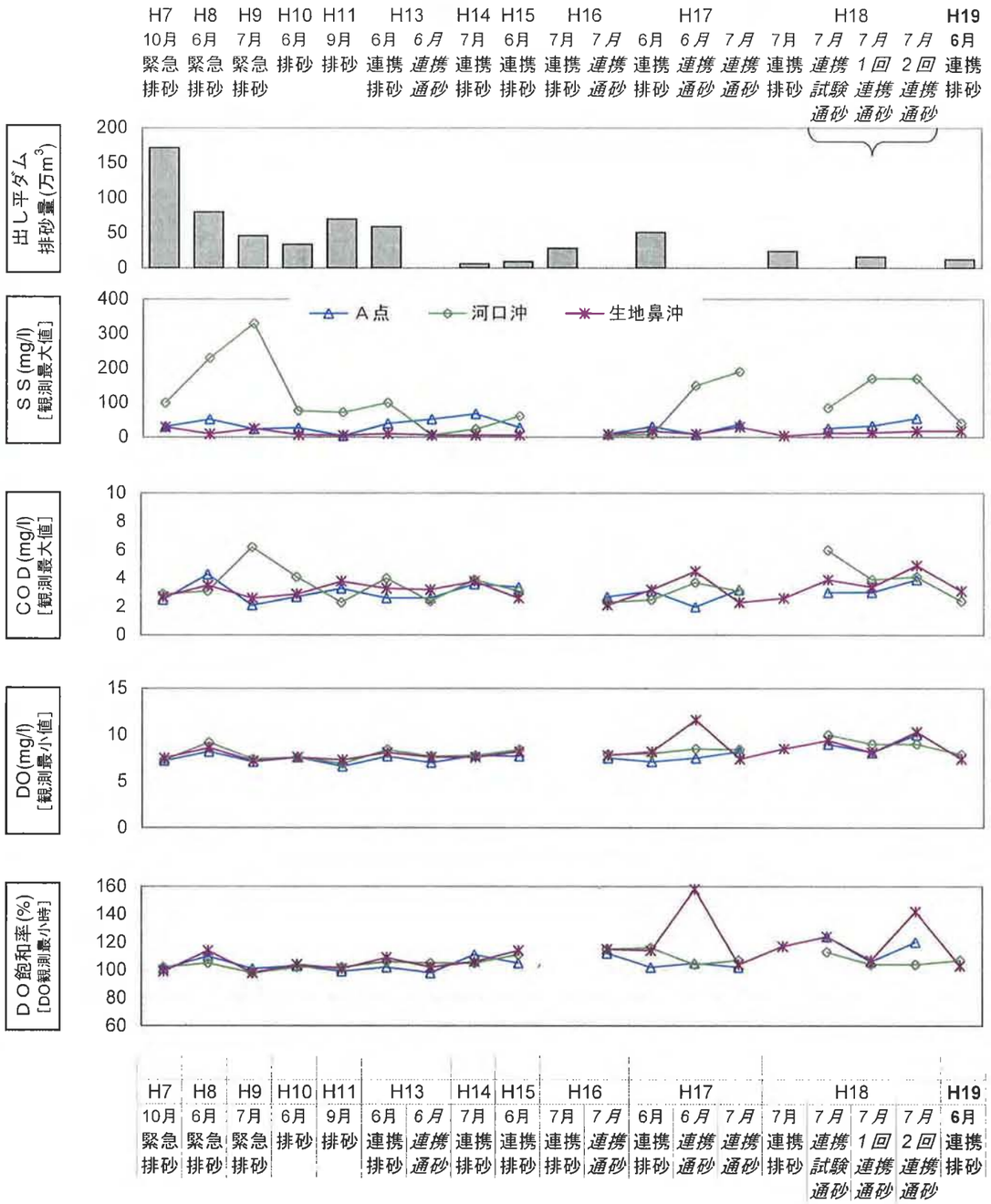
⑥ H18年は、排砂後及び通砂後に出し平ダム湛水池内の測量が実施できたことから、排砂後から第２回通砂後までにおける出し平ダム湛水池内での土砂変動量（約16万m^3）が把握されている。上表の「出し平ダム排砂量」欄にはこの値を記載している。
⑦ H19.6連携排砂は、水位低下中および水位回復中における観測値を記載している。

海域水質　観測値の推移

（代表４地点）

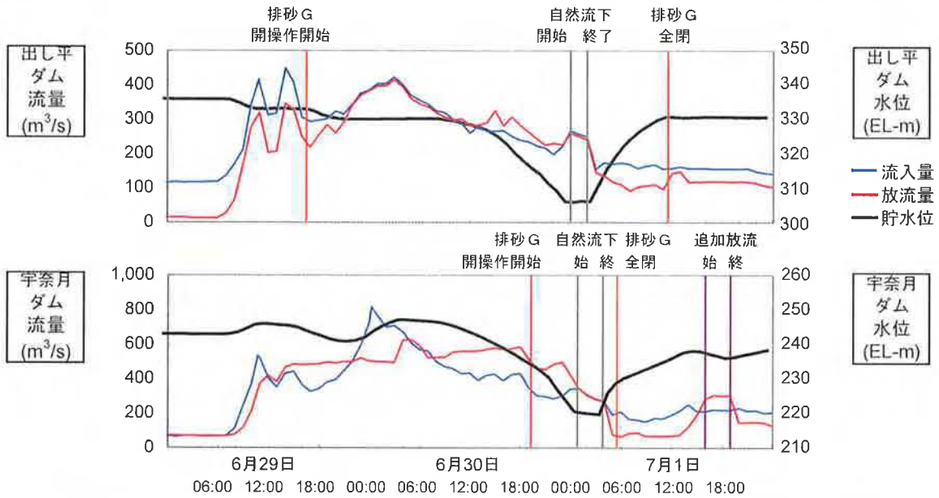


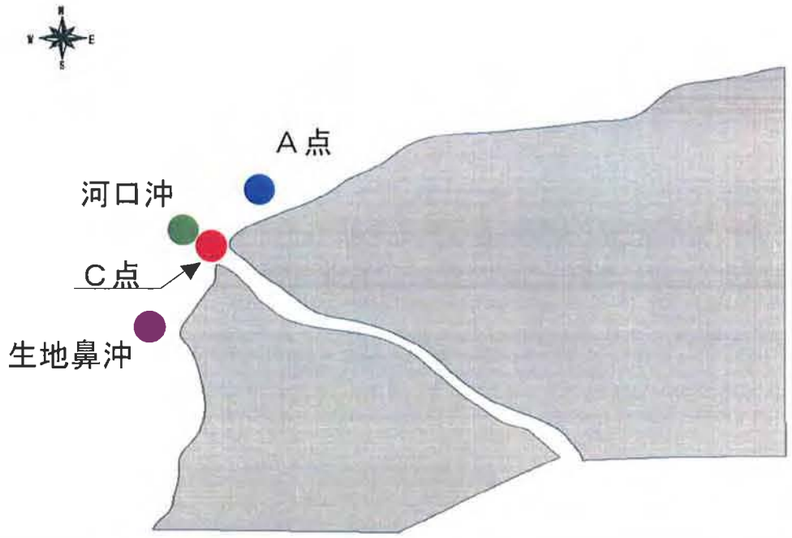
（Ａ点、河口沖、生地鼻沖）

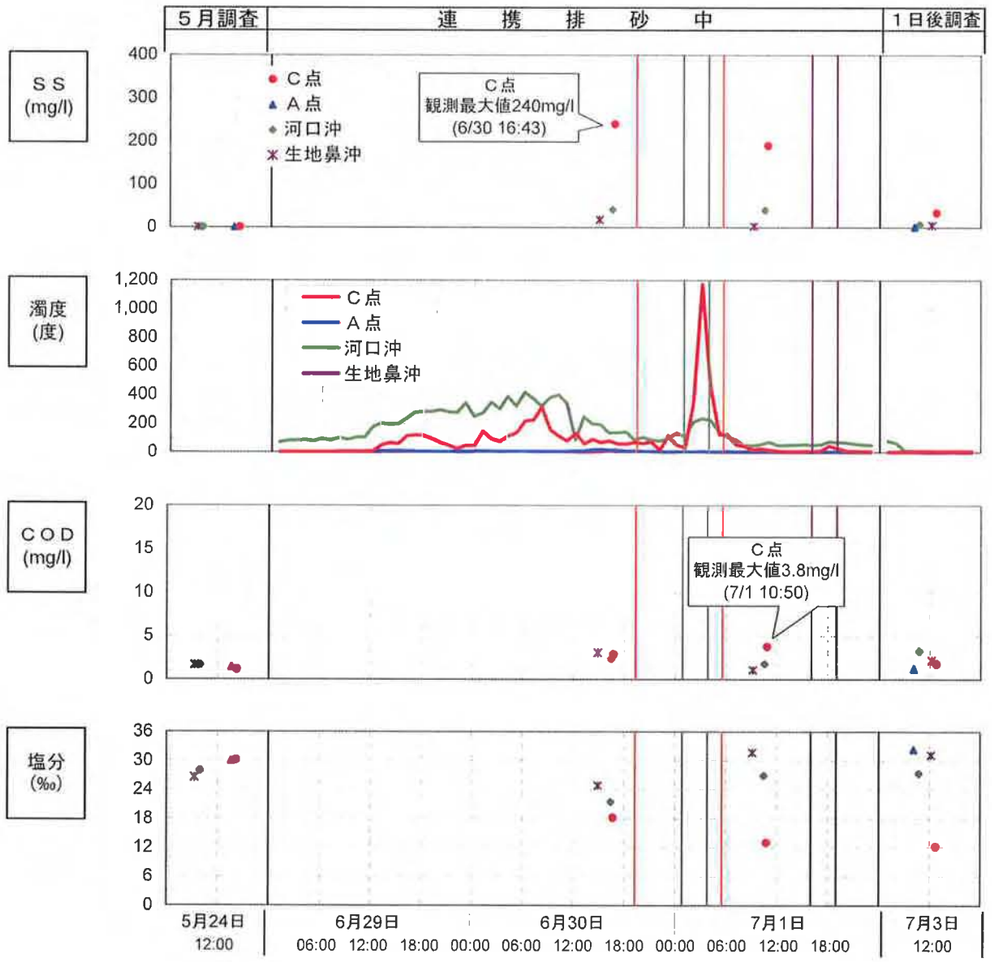


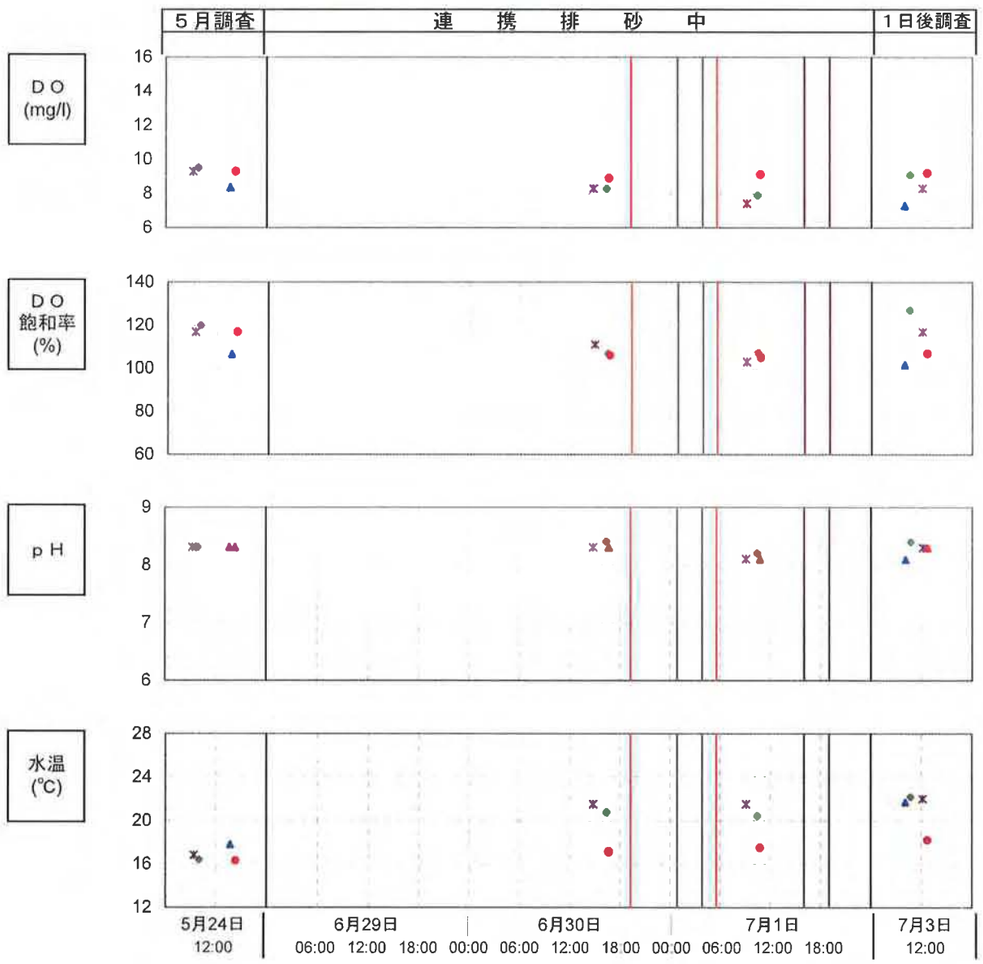
海域 水質（代表４地点）

宇奈月ダムの排砂ゲート開期間中については、夜間のため採水できなかった。
濁度の自動観測によると、Ｃ点では下黒部橋地点のSSと同様の推移を示した。

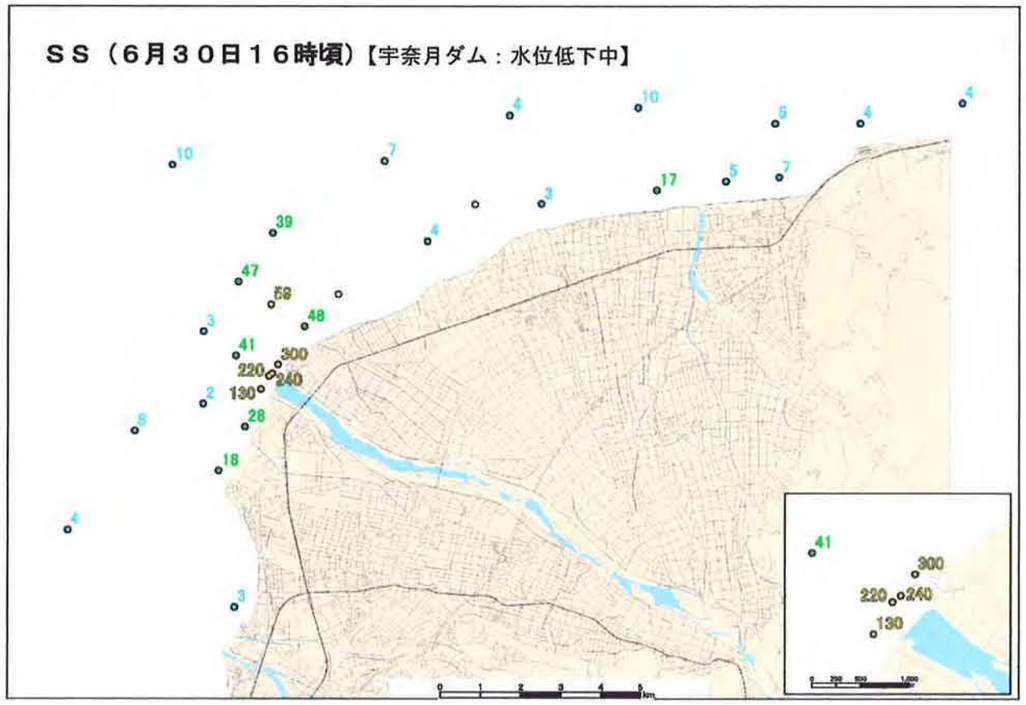




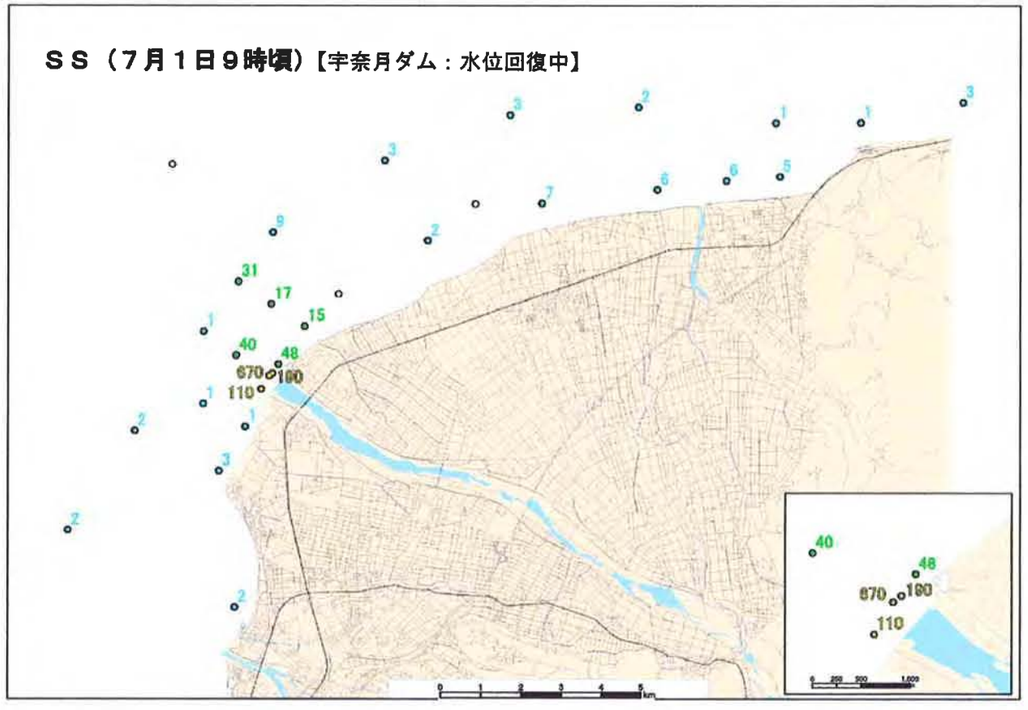


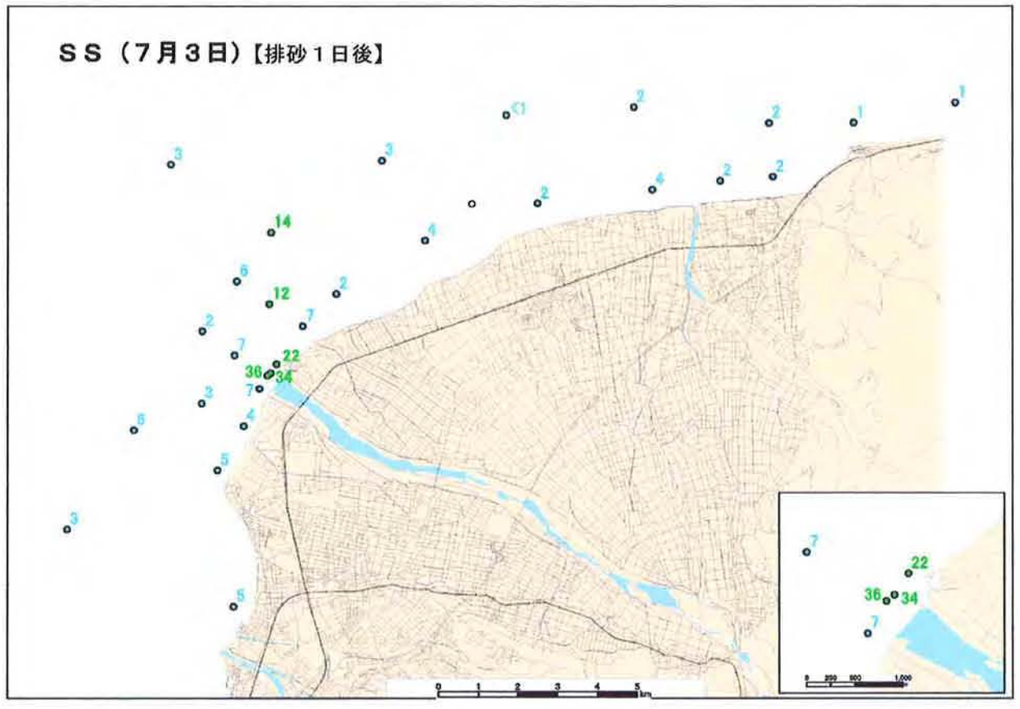


海域　水質［ＳＳ］



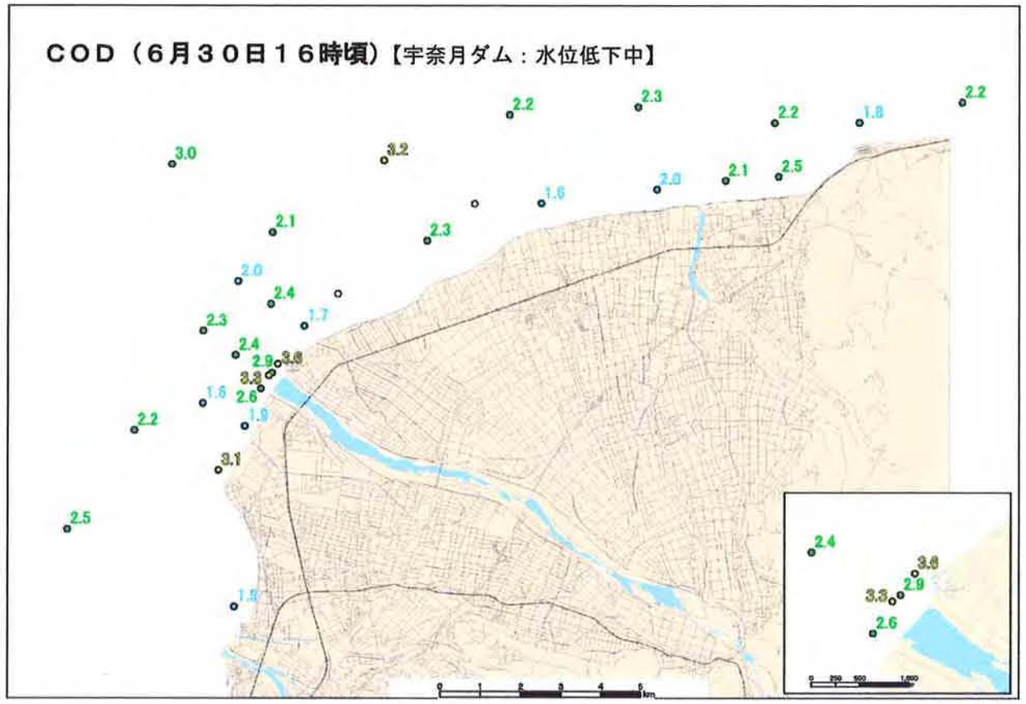
地点により採水時刻に差異があるが、観測最大値はC'点の7/1 08:00における670(mg/l)であった。



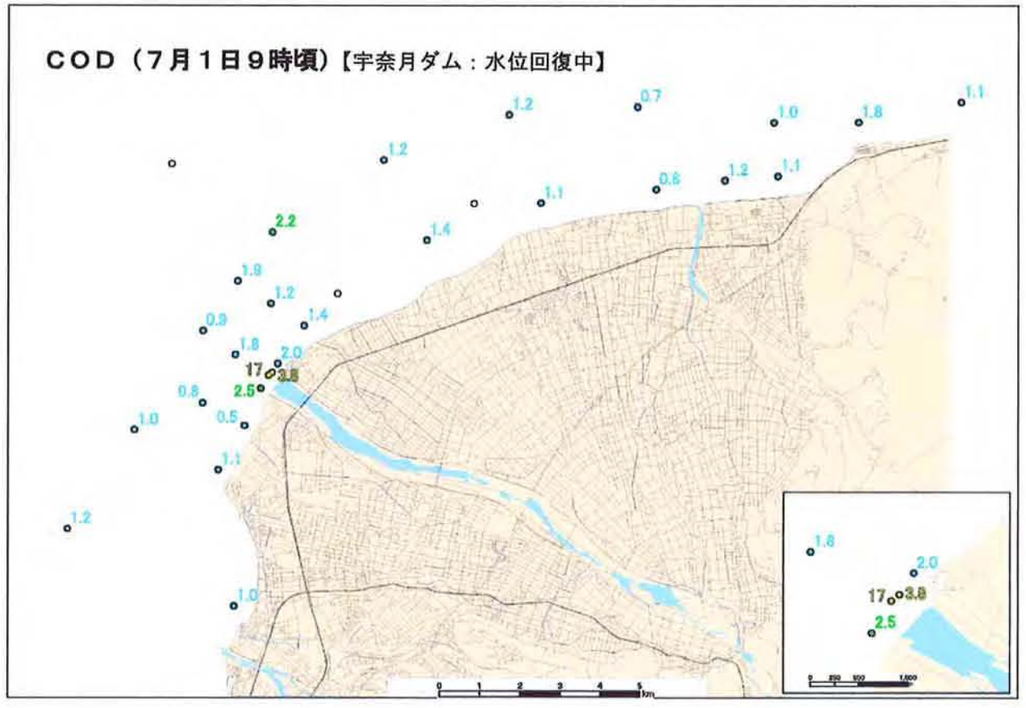


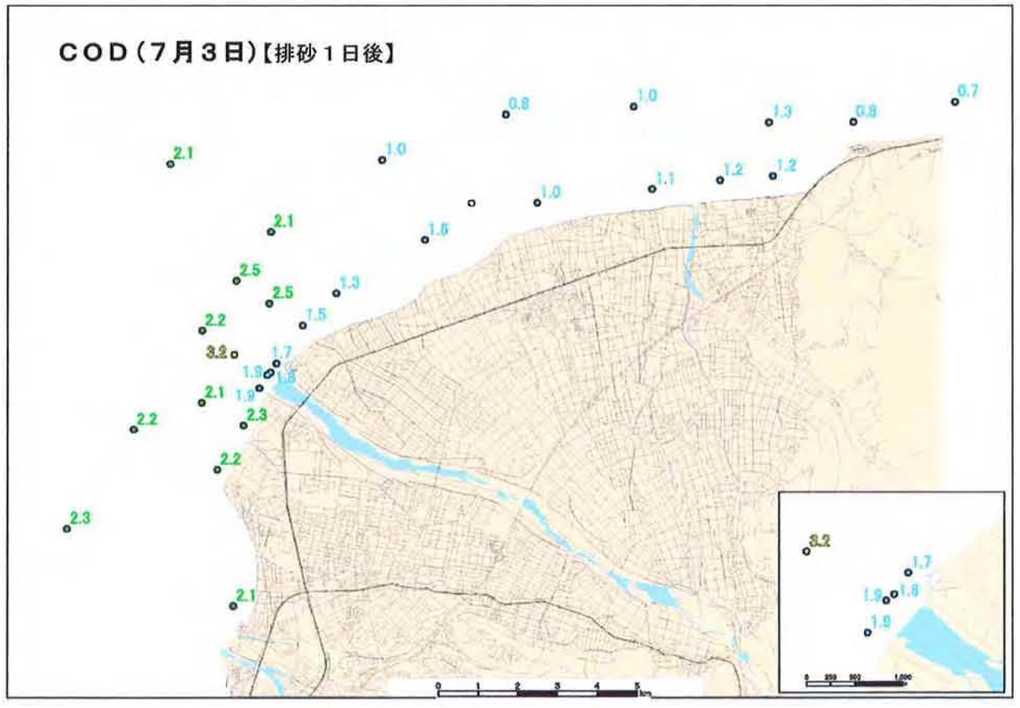
［凡例］●：SS≦10、●：10＜SS≦50、●：50＜SS≦100、●：100＜SS≦1,000、○：欠測

海域　水質［ＣＯＤ］



地点により採水時刻に差異があるが、観測最大値は C'点の 7/1 08:00 における 17(mg/l)であった。





［凡例］●：COD≦2、●：2＜COD≦3、●：3＜COD≦8、●：8＜COD≦30、○：欠測